

無題（六）

宮本百合子

青空文庫

私が見境いなくものを読みたがり出した頃は、山田美妙の作品など顧られない時代になって居た。一つも読んだことはないが、感情の表現を大体音声や言葉づかいの上に誇張して示したらしい。雲中語の評者たちから、散々ひやかされて居るが、同じ明治三十年に新小説に発表した「平八郎」の評 文学生。市之進がお国の自殺を見たときの詞は、実に修辭の妙を極めて居るから、少し抜いて同好の士に示してやりたい。曰く

「旦、御新造、やれまツ、自、害か、馬ツ、何といふ、いけませんか、療治は、助かりませんかな、やれ、もツ、こんな綺麗な首に、こ、こんな石榴のやうな痣ツ、（中略）仕様ン無いなア、死

ぬなんて、まツ、えツ、も、どうしたら、よう、やい、ひよう、いけないかなア、助からないかなア、ち、畜生だなツ、ほんとうにイツ」悔しいが我々には、ち、畜ツ、ちえツ、もツ、お、及ばなイツ。

口まね。　ハツ、ヘツ、ヘイ八郎の評でござるか、チツ残念だツ、まツ、ほんとにイツ、びツ、びツ、美妙斎とも云はれる人が、こ、こんなものを書くとは、アツ、もう、仕様ン無いなア。

○この時代、一般にまだ義太夫口調の趣味失せず。美妙のどったんばったんの措辞も幾分その余波にや

○雲中語に、紫琴という女流作家の名が見える。誰であろう。よ

い作品はなかったらしいが。

○鵜飼搔、三人冗語、雲中語をとびとびによみ、明治文学史のよ
いのが一日も早く出ることを希う。

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第十八卷」新日本出版社

1981（昭和56）年5月30日初版発行

1986（昭和61）年3月20日第2版第1刷発行

初出：同上

入力：柴田卓治

校正：磐余彦

2004年2月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp/ で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

無題（六）

宮本百合子

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>